

教科名	商業		学年	3	教科書 補助教材 等	特になし
科目名	課題研究 マルチメディア演習		単位数	3		
科目の 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 映像処理に関する知識と技能を習得させ、各種メディアで作成した情報を統合させ、情報を効果的に発信する能力と態度を育てる。 マルチメディアを活用してビジネス情報を創造的に表現し、分かりやすく説得力のある映像を制作するための知識と技術を習得させる。 映像を活用したプレゼンテーションで、総合的な情報発信能力を育てる。 					
学期	月	指導内容	具体的な指導目標		配当時数	備考
一 学 期	4	動画データの形式 使用ソフトウェアの基礎知識	年間を通して学ぶ動画データの扱いについてその基礎を学ぶ		6	練習問題
	5	<ul style="list-style-type: none"> 動画編集の基礎知識を学習する。 動画作品の制作を、個人で楽しむもの、学校やイベント等の非営利目的で上映するもの、広告等のビジネスで使用するものに分類し、その制作過程について知識と理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入で、様々な分野の動画作品を紹介する。 CM制作を例にとり、①作品作りのコンセプト②企画の決定③撮影④編集・試写⑤完成品の納品といった制作過程についてメモを取りながら指導していく。 各自で選択したCMについて調査研究する。「絵コンテ」「作品のコンセプト」等を分析し、それぞれをレポートとしてまとめる力をつける。 		12	<ul style="list-style-type: none"> 「著作権」や「プライバシーの保護」など情報モラルの必要性や個人情報セキュリティ保護の基本を学習させる。
	6	<ul style="list-style-type: none"> 本校紹介のために、授業、部活動、行事などの風景を撮影し、パソコンに取り込む。それをもとに、中学生を対象とした四商PRビデオ「スクールライフビデオ」を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会における、テレビ等の映像メディアの果たす役割を認識させる。また、ビデオ編集の目的、効果、技術について、その初歩段階を体験させる。 目的を持って「見せる」ことを、実践を持って作業させる。具体的に中学生に紹介することをイメージさせて映像を加工し、他に見せた時の印象をフィードバックする。 		12	<ul style="list-style-type: none"> 映像上での表現方法や慣用表現について、その注意点とともに広く学習させる。
7	<ul style="list-style-type: none"> 各シーンごとに、タイトル、BGM、ナレーション等工夫をこらし目的に沿った作品に仕上げていく。 			9		
二 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな曲に合わせた動画「ミュージッククリップ」を制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの身近な音楽を題材にして、作品を制作する楽しさを体験させる。同時に制作にあたっての計画を綿密に立てることが作品制作に必要なことを理解させる。 作品は、他人が視聴することが前提で公開されること意識させる。社会問題にもなっているモラルや個人情報等については繰り返し指導する。 		12	<ul style="list-style-type: none"> 個人が楽しむ映像上の権利の制限を学習する。 公共施設はもちろん、校外での撮影については、モラルやマナーを中心に具体的事例をあげて、繰り返し指導する。 施設や設備の安全管理に配慮して学習環境を整えるとともに、学校管理の物品を大切に故障させることなく扱わせる指導をする。
	10	<ul style="list-style-type: none"> 制作にあたっては、企画→立案（絵コンテ）→撮影→編集→評価のサイクルを経験する。 			12	
	11	<ul style="list-style-type: none"> メディアにおける広告活動について学習する。具体的にテーマを決め、消費者に購買の意欲を湧かせたり、メッセージを伝えるようなCMを制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの身近な動画を題材にすることで作品のイメージを作りやすくする。また、1つの作品制作の過程を経験することで動画編集の基礎知識、技術を習得させる。 素材の撮影、作品過程における注意事項等を十分に認識させて上で、目的に沿った作品制作に取り組む姿勢を指導する。 		12	
	12	<ul style="list-style-type: none"> 制作にあたっては、チームを決め、企画→立案（絵コンテ）→撮影→編集→評価サイクルを経験する。 			3	
三 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> 日々の暮らしの中で、気になるマナーを決めてそれに対する啓発動画「マナー広告」を制作する。 規定の範囲内で作品を制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の学習のまとめとして、今までに培った知識と技能を生かした作品を製作させる。授業の内容が、情報社会の生活や仕事に繋がっていることを意識させる。 		12	<ul style="list-style-type: none"> 作品づくりの過程において、「人権」に配慮した表現を心がけ、問題のない映像作りを学習させる。
	2	同上	同上		12	
	3	同上	同上		3	
年間授業 時間数計	99		1学期 33	2学期 39	3学期 27	
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 映像の目的、手段、効果について十分に理解させ、実務に生かせる実力をつけさせる。 情報収集や作品制作にあたり、人権や著作権等に関して十分に留意させる。 					
評価の観点					評価方法	
関心・意欲・態度	動画技術の活用について主体的に関心を持つ。情報収集、処理する実践的な態度を身につけている。					定期考査は実施しない。 課題に対する取り組み状況、提出状況、作品の完成度、自ら学ぶ姿勢を総合的に評価する。
話す・聞く能力	動画技術の活用について思考を深め、知識技能を活用する。					
読む能力	動画技術に関する基礎・基本的な技術を身につけている。					
知識・理解	動画技術に関する基礎・基本的な知識を身につけ、ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解している。					